

ふうせんバレー

競技規則

1.種目

ふうせんバレー

2.人数

パート	会場	年齢	チーム編成
I・Jパート	勤労者体育センター	小学1年生 ～6年生	男子2名女子2名

・4人制 各チーム選手4名～6名以内(内1名は代表者)

・代表者は保護者

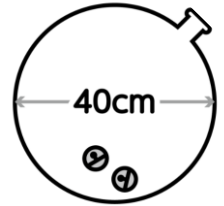
3.コート及びネットの高さ

コート ➡ 6.1m×13.4m (バドミントンダブルスコート)

高さ ➡ 1.55m ネットから2.5mのラインを引き、サービスライン (アタックライン) とする。

ふうせんの大きさ ➡ 直径40cm 鈴2個を入れ結び目にビニルテープ (巾5cm×長さ7cm) を貼ったものを使用

試合球の色 ➡ ピンクを基本とする。



4.試合方法

- この大会は、ふうせんバレー競技規則及宇美町ローカルルールとする。
- チームは4人制で行い、フリーポジションとする。メンバーチェンジは何度でもできる。
- チーム全員がボールに触れ、6回以内で相手コートにボールを返す。指定打数の間1人が2回までボールに触れることができるが、同じ人が連続して触れることはできない。
- 試合は1セットマッチでチェンジコートはしない。
- 試合時間は15分とする。
- 作戦タイムは1回 (30秒以内) とする。
- サービスはじゃんけんの結果サービス権を得たチームから行う。
- サーブは1本目を失敗しても2本目を打つことができるが、いずれもネットに触れて入っても良い。1本目失敗後の選手交代は認めない。
- サーブ権は得点が入る毎に相手チームに移動する。
- サーブの空振りとは1打とする。
- サーブは、サーブ体制の後ボールが手から離れたのち中止しても1打とする。
- サービスオーダーミス
 - サーブの前であれば正規のサーバーに交代。
 - サーブ後であれば抜かされたサーバーが次にサーブする。その次からは正規のサーブ順に戻る。サーブオーダーミスの反則はとらない。
- 試合方法はリンクリーグ及びトーナメント方式とする。

勝敗のつけ方 (1) 勝敗 (2) 総得点 (3) じゃんけん

5.反則

1) ダブルフォルト	サーブを2本とも失敗した場合
2) ナットオール	全員がボールに触れる前に相手コートに返球しなかった場合
3) オーバータイムス	①6回以内に相手コートに返球できなかった場合 ②同一プレイヤーが3回ボールに触れた場合
4) ドリブル	同一プレイヤーが連続2回ボールに触れた場合 但しサーブやアタックの第1レシーブのとき一連の動作におけるドリブルはとらない
5) インターフェアアー	相手選手のプレーを妨害又は威嚇・示威・人身攻撃した場合（審判に対する暴言なども含む）